

## Q 健康増進と医療費削減

## A 個人の健康づくり支援



▲ナイスシュート！子どもたちはスポーツが大好き

**Q1** 我が国は、様々な環境の変化、特にも食生活の変化が著しく、多種多様の病気が発症しています。加齢による成人病も、今は年齢に関係なくかかることから、生活習慣病と言われる時代になっています。

今、一番推進を図らなければならないのは、治療はもとより病気の予防策であります。

健康づくりに運動は不可欠であり、健康維持は医療費削減に直接連動することから、質問します。

①成人が週に1回以上のスポーツ実施率向上を目指した、第3次滝沢村スポーツ推進計画が17年度に終了するが、その進捗よく状況は。

②健康づくりは、個人の意識高揚が重要であり、今後の意識づくりは。

③はつらつ元気館、いきいきサロンの利用状況と医療費削減の実施効果は。

**A1** ①13年度より「スポーツフェスティバル」の開催、村民体育祭と併せ誰でも気軽に参加できる住民参加型スポーツ・レクリエーション活動の普及充実に努めています。



熊谷 初男 議員 (しのめ会)

スポーツ実施率などの調査は実施しておりませんが、体育、学校施設などの利用状況から、スポーツを楽しむ住民が着実に増加していると考えます。

②健康づくりの意識高揚と望ましい食生活、運動習慣の定着など、村民の主体的な健康づくりを支援します。

③17年度、「はつらつ体力づくり講習会」受講生は46名で、疲れにくく体力がついたなど変化が顕著に出ています。「いきいきサロン」は、16年度で978回、延べ10,052人の利用者です。経費の節減は、16年度「はつらつ元気館」利用者の介護認定が改善された4人への給付費から推計し、年額にして484万800円と見えています。